

目のアレルギー

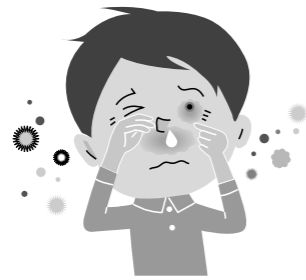
* アレルギーとは？

ヒトには、体に入り込んだ異物から身を守るために、免疫反応という機能があります。本来、細菌や異常な細胞などに反応し、体から排除して病気にならないようにするものですが、害でない物質にまで過敏に反応し、病気を引き起こしてしまう事をアレルギーと言います。鼻の粘膜、気管支の粘膜で反応を起こすと、アレルギー性鼻炎、気管支喘息です。同様に目の粘膜（白目、まぶたの裏）で起これば、アレルギー性結膜炎となります。

* アレルギーによる主な目の症状

アレルギーの原因となる物質（抗原）が目の粘膜（白目、まぶたの裏）に接触して反応が起こるため、目が痒くなり、まぶたが腫れたり、痛みや、異物感を生じ、目やにが出たりします。こするとさらに悪化して、白目がゼリーのように腫れたりすることもあります。

アレルギーの原因物質は涙で流され目頭の涙点から鼻に流れていくため、目頭だけがかゆくもなります。コンタクトレンズが原因の場合、レンズが汚れる、ずれるという症状のこともあります。目の乾き、痛み、充血といったドライアイと同じような症状のため、区別がつかなかったり、あるいはドライアイとアレルギーを合併することもあります。



* アレルギーによる主な目の病気

・ 季節性アレルギー性結膜炎

花粉が原因で生じるアレルギーです。スギ花粉症が

代表的ですが、一年を通して様々な花粉が飛んでおり、毎年決まった季節に症状がみられることが特徴です。

花粉症の原因となる植物の花粉飛散時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ												
ヒノキ科												
イネ科												
ブタクサ属												
ヨモギ属												
セイヨウアブチソウ												

・ 通年性アレルギー性結膜炎

一年を通して、ほこりなどの中にあるハウスダストやダニが主な原因となって発症します。イヌやネコなどのペットの抜け毛やフケ、カビもアレルギーの原因となる場合があります。

・ アトピー性角結膜炎

アトピー性皮膚炎の影響で結膜に炎症を起こすこともあります。通常のアレルギー性結膜炎よりもひどい炎症があらわれ、悪化すると白内障、網膜剥離を来すこともあります。

・ 春季カタル

10歳までの男児に多くみられる慢性重症型のもので、上まぶたの裏側に結膜乳頭というぶつぶつができて、瞬きの度に角膜とこすれます。角膜にキズがつき、角膜がにごると視力が低下するおそれがあります。そのため通常の治療よりも必要となる薬物が多くなります。

・ 巨大乳頭結膜炎

コンタクトレンズなどの異物による反応で起きるアレルギーです。コンタクトレンズの定期検査の時に上まぶたをひっくり返すのはこのチェックのためです。かゆみを感じていないことも多く、「レンズが汚れる」「ごろごろする」「レンズがずれやすい」という症状だけのこともあります。

その他に、目薬や化粧品が原因で、角膜やまぶたの皮膚にアレルギーが起こることもあります。

* アレルギー性結膜炎の治療

アレルギー性結膜炎の治療では主に点眼薬を使用しますが、その重症度により、使用される薬物が異なります。

・ 抗アレルギー点眼薬

通常、軽度の症状であれば、まず抗アレルギー点眼薬を使用します。アレルギー反応の元を抑えて症状を抑えるものと、かゆみを引き起こすヒスタミンの作用を直接阻害するものがあり、症状に応じて使い分けます。

また、季節性アレルギー性結膜炎については、花粉が飛び始める2週間くらい前から点眼することにより、発症の時期を遅らせたり、症状を軽くできます（初期療法）。抗アレルギー点眼薬は副作用が少ない薬です。

・ ステロイド（副腎皮質ホルモン）点眼薬

抗アレルギー点眼薬では治まらなかったり、角膜にキズがみられたりするなど、重度のアレルギー性結膜炎に対しては、ステロイド点眼薬が使用されます。ステロイド点眼薬は、炎症に直接作用するため、即効性があり効果が高いという特徴があります。しかし、緑内障や白内障を誘発する副作用もあります。そのため、副作用に注意しながら使用することが必要となります。また、アトピー性角結膜炎の場合には、ステロイド眼軟膏をまぶたに使うとアトピー性皮膚炎もあわせて治療することもあります。

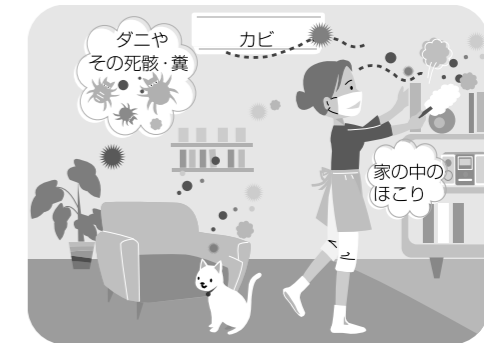
・ さらに重度の場合への対処法

以上のような薬物でも症状が安定しない場合には、免疫抑制剤の点眼薬や抗アレルギー薬の内服剤も組み合わせて治療していきます。また、重度の春季カタル

にはステロイド剤の内服や、結膜の注射、更には手術を行うこともあります。

* アレルギー性結膜炎の予防

花粉症の場合は、症状の出やすい季節にできるだけ花粉と接しないように工夫することが重要です。ゴーグル型の眼鏡や花粉防止用のマスクの着用も効果的です。花粉が飛びやすい日は外出や洗濯などを外に干すことを避けたり、外出から帰宅した時には、服についた花粉を十分に落とすようにします。ハウスダストの場合は、部屋の清潔を心掛けたり、寝具を干したりすることも効果的です。



* 早めの受診を！

一般的には点眼薬で症状を和らげられることが多いアレルギー性結膜炎ですが、中には角膜障害から、将来的に視力低下を来す重症の春季カタルや、網膜剥離や若年の白内障、円錐角膜（角膜の変形）を来すおそれのあるアトピー性皮膚炎合併の重症例もあります。いずれも小児から発症することが多く、強い自覚症状が無い場合もあります。早期発見と長期にわたる根気強い治療が必要となります。

自分が目のかゆみを感じたら、また家族が目を痒がるようであれば、一度眼科を受診して下さい。

明日10月10日は目の愛護デー

富山県眼科医会

ご不明な点はかかりつけの、もしくはお近くの眼科医にご相談ください。